

文化連盟の主催事業をご紹介します

総合文化祭、文化探訪、活動助成金

文化連盟とは、どのような活動を行っている団体なのでしょうか？ここでは、文化連盟の主な事業等をご紹介します。

大任町総合文化祭

総合文化祭は、毎年、11月3日と4日の2日間、レインボー



▲昨年度の総合文化祭（展示発表）の様子

ホールで開催している文化連盟の代表的な事業であると同時に加盟している各部会がそれぞれの一年間の成果を発表する場でもあります。

芸能発表は3日のみレインボーホールで、作品展示は3日、4日の2日間、B & G体育館で行われ、町内外からたくさんの方が訪れ、賑わいを見せます。

春季・秋季文化探訪

町内及び町外の文化財などを訪問し、会員の皆さんの文化に対する関心を深めてもらおうという趣旨で、春と秋の年2回開催しています。

平成24年度の春季文化探訪は昨年5月17日に「今任原地区の史跡を訪ねて」と題して、安永から上今任、峰、桑原、道善を経由し、長野秋山顕彰碑や御船岩など町内の史跡を訪ね歩きましました。参加人数は21人でした。

秋季文化探訪は「長府城下町と門司港周辺を訪ねて」と題し昨年11月15日に開催。こちらは54人もの参加があり、観光バス2台で山口県に行き、長府毛利邸や功山寺を訪ねたあと、関門人道トンネルを通ったり、門司港レトロの観光列車「潮風号」に乗りしたりと盛りだくさんの内容で、大変好評でした。

文化探訪は、本年度も役員会で行き先を検討し、昨年と同じ時期に開催する予定です。

活動助成金

文化連盟に加入している各種団体の育成および組織拡充の推進を目的とした助成金の交付を行っています。

対象となるのは、それぞれの代表者の下で、定期的に活動を行なっている会員数3名以上の団体で、会費を完納していることが条件となります。

助成金額は前年度の会員数によって決定し、会員が3人から10人の団体で1万円、11人から30人で2万円、31人以上で3万



▲秋季文化探訪で訪れた功山寺

5千円となっています。新規加入団体については、翌年度から交付対象となります。

助成金の総額は、30万円を限度とし、この額を超える申請があった場合は満額支給できない場合もあります。昨年度を例にとると、助成金の総額が40万5千円でしたので、支給額は74%、1万円のところ7千400円の支給となりました。

文化連盟の事業等について、詳しくは事務局までお問い合わせください。

問い合わせ

文化連盟事務局

TEL 63-22242